

国有林のフィールド活用を通じた地域貢献 ～20年以上にわたるクロスカントリー大会の実施～

木曽森林管理署 氷ヶ瀬森林事務所 森林官補 ○鈴木 香乃
王滝村役場企画・観光推進室 室長補佐兼商工観光係長 みづぐち たかひろ 溝口 孝博

はじめに

王滝村は長野県の南西部、御岳山の麓に位置する人口約650人の山村です。村の総面積のうち約96%が森林であり、その約87%が国有林です。広大な国有林と地域の関わりは、ヒノキを主体とする木材生産やアウトドアスポーツなどを通じた森林空間の総合利用であり、その利用方法は多様化してきました。

その一例として、20年以上にわたり国有林林道を使用するクロスカントリー大会（※）が開催されており、毎年多くの競技者やスタッフが王滝村に集まります。国有林における大規模な大会開催は全国的にも他に見られない取組であり、これは、国有林野の管理経営に関する基本計画の目標に掲げられている「国有林野の活用を通じた地域の産業の振興、住民の福祉向上への寄与」に大きく関わる大会です。このため、本取組を地域貢献の事例として報告します。

※報告において「クロスカントリー大会」とは、王滝村で開催されているトレイルラン及びクロスマウンテンバイクの大会を示します。

1 王滝村の概要

（１）森林と林業

王滝村は、日本三大美林（青森ヒバ、秋田スギ、木曽ヒノキ）の1つである木曽ヒノキの天然林（写真－1）が広がる、古くから林業が盛んな地域です。1947年に林政統一により国有林となった森林は林野庁の所管となり、事業最盛期の1965年には、王滝村内で年間約20万m³の生産量がありました。しかし、国有林野事業の経営悪化が進み、その改善が図られる過程で、経営方針が林産物の供給から公益的機能の維持増進へと転換し、事業縮小したため、村の林業従事者は減少していきました。近年、国有林における生産量は年間約1万m³で推移しています。



写真－1 王滝村内の木曽ヒノキ林

（２）アウトドアスポーツの発展

王滝村では、広大な自然のフィールドを林業だけでなく、登山やスキー、カヌー体験など、観光資源として活用しています。その一例が、今回の報告事例であるクロスカントリー大会であり、一大会あたり1,000名を超える競技者やスタッフが集まる大きなイベントとなっています。天候不良や新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止となる年もありましたが、20年以上続いています（2024年のセルフディスカバリーアドベンチャーin王滝（以下「SDA王滝」という。）は台風の接近に伴い中止）。

2 大会の概要

(1) 大会とその特色

王滝村では、毎年3つの大会が開催されています(表-1)。大会の特色は、国有林林道を使用したワンウェイかつ長距離のダートコースであることや、コース上の国有林林道から、王滝村の雄大な自然の景色を楽しめることです。(写真-2)

(2) 設立の経緯

本大会は、ワンウェイかつ長距離コースの大会設立を目指したパワースポーツとアウトドアスポーツを通じて村の観光産業を盛り上げたい王滝村が木曽森林管理署(以下「木曽署」とする。)に相談いただいたことにより、検討が始まりました。

安全面や国有林における事業実行との兼ね合い等、様々な検討を経て、木曽署は大会を承認することになりました。

(3) 大会の変遷

大会設立当初の参加者は100名程度でしたが、雑誌での宣伝活動や大会参加者からの発信等を通じて年々増加していきました。近年はコロナ禍での開催見送りや天候不順による中止、延期開催等を除けば、毎年2,000名を超えています(図-1)。また、参加者は北海道や九州ほか全国各地から集まっており、全国規模の大会であることが分かります(図-2)。

表-1 王滝村で開催されているクロスカントリー大会

月	大会名	競技
7	ONTAKE100	トレイルランニング
9	ONTAKE50	トレイルランニング
9	SDA王滝	クロスマウンテンバイク

※ 2024年のデータである。



写真-2 コース上の景色(御岳山)

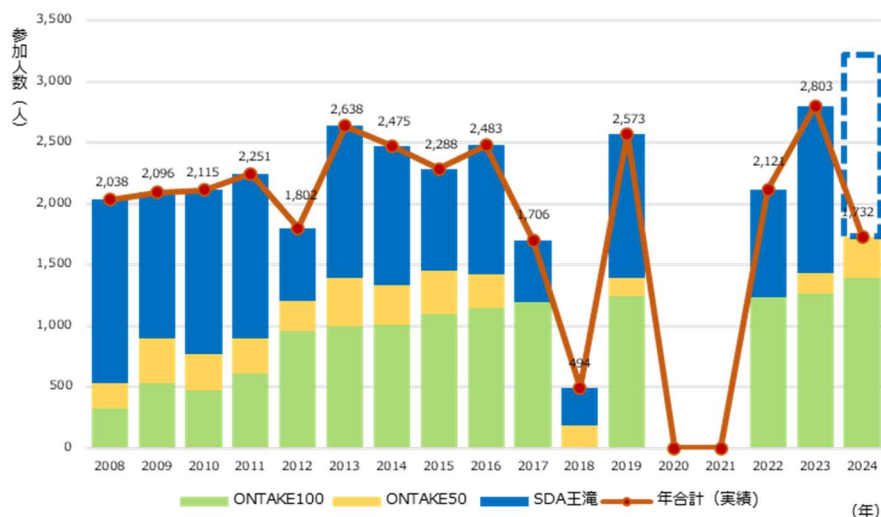
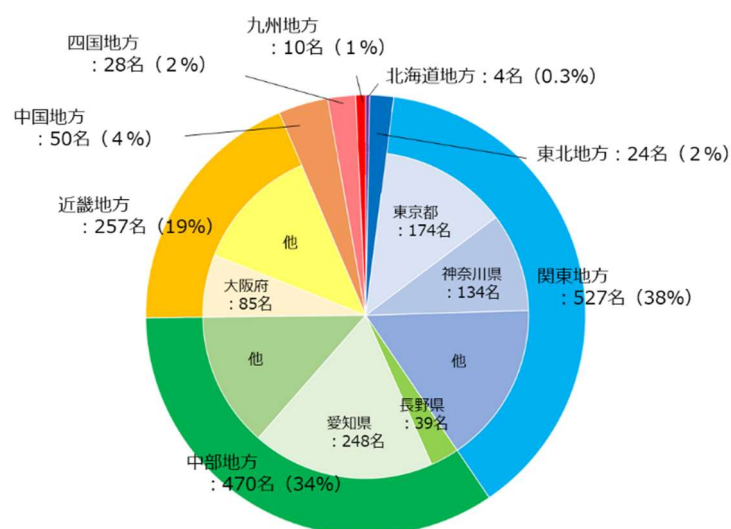


図-1 大会参加人数の推移

※1 2024年 SDA 王滝は中止のため、エントリー数を破線で表示した。

※2 2008年より前のデータは保管されていなかったため不明。

(資料) 有限会社パワースポーツ提供



図－２ 大会参加者構成

※ 2023 年の SDA 参加者 1,368 名のうち、在住地域が不明の 2 名を除く
 (資料) 有限会社パワースポーツ公表資料より集計 (大会 HP より)

3 大会開催に向けた準備と当日の様子

大会は、国有林野事業を効率的に実行するために整備されている国有林林道と、国有林外の公道を使用して開催されます。

大会当日に向けた準備について 7 月開催の OSJ (Outdoor Sports Japan) ONTAKE100 を例に紹介します。木曽署での毎月の林道点検に加え、王滝村でも 4 月以降、コースを検討すべく林道の安全確認を行います。木曽署からは、村に点検状況を共有し、コース設定の助言を行うなどしています。点検の結果、修繕が必要な箇所もあり、当年度に事業を実施する箇所においては早急に国有林の事業の中で修繕を行いますが、大会実行委員会及び王滝村直営でも林道修繕や除草等を実施いただいています (写真－3)。また、令和 4 年度には、王滝村と木曽署で路肩崩壊した林道にブルーシートを張るなど協働での作業も実施しました (写真－4)。これらを経て、大会 1 か月前にはコースが決まり、多くの実行委員の下で作業が進められ当日を迎えます。



写真－3 大会準備の様子 (左：林道修繕、右：除草)

写真－4 共同作業の実施

大会当日は、村民もボランティアに加わり、大会の運営を行っています。大会当日の様子は写真にて紹介します (写真－5 及び写真－6)。



写真－５ 大会当日の様子（OSJ ONTAKE100）



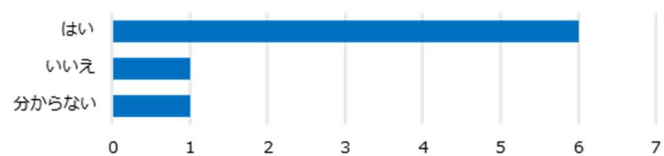
写真－６ 大会当日の様子（SDA 王滝）

４ 大会に関する評価

（１）王滝村内の商業施設へのアンケート・聞き取り調査

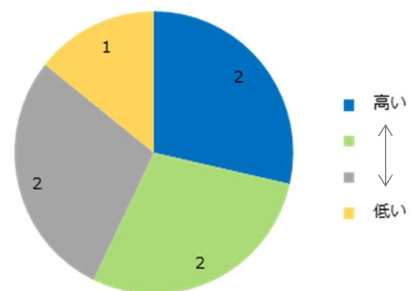
王滝村内 9 つの商業施設にアンケートに回答いただきました。各施設の業種内訳は、小売業 4 施設、宿泊業 4 施設、飲食サービス業 1 施設です。質問内容は、①大会を通じた王滝村の魅力の発信、②大会開催による経済効果、③今後の大会開催についてです。

まず、①の大会を通じた王滝村の魅力の発信（図－３）ですが、6 施設が「はい」と回答している一方で、「いいえ」の回答理由として、「リピーターの方の参加も重要だが、新たに王滝村を知ってもらい、来てもらうことも重要だから、SNSでの情報発信をより積極的にしていくべき」という意見がありました。



図－３ 大会を通じた王滝村の魅力発信
（回答数＝７）

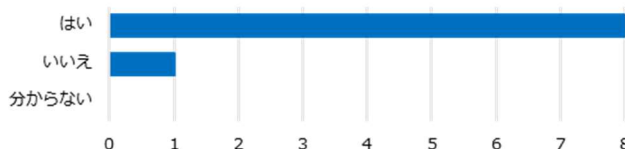
また、②の大会開催による経済効果（図－４）については、「高い」「ある程度高い」の回答が計 4 施設ある一方で、「あまり高くない」「低い」も計 3 施設あり、施設により回答に幅が見られました。特に宿泊施設においては、「天候に左右されるため、大会中止による赤字が怖い」「日程次第では他のお客さんが多く来るタイミングとかぶりそれらの予約が受けられない」という意見もあり、開催年によっても経済効果に幅が見られることが分かりました。



図－４ 大会開催による経済効果
（回答数＝７）

最後に、③の今後の大会開催（図－５）については、８施設から「今後も継続してほしい」と回答が得られました。「大会開催により村が賑わう」「村の魅力、情報発信の機会になる」「何年も継続してきた大会であり、これからも大事にしたい」などの意見をいただきました。

その他、一部施設からはこの大会を通じて、遠方からの参加者とのやり取りが続いている話や、10年以上毎年来てくれているお客さんがいるといった話を伺うことができました。

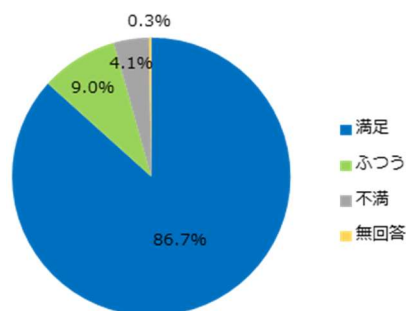


図－５ 今後の大会開催
(回答数＝9)

（２）大会参加者

有限会社パワースポーツから提供いただいた2023年SDA王滝の大会後の参加者アンケートの集約結果を示します。

大会の満足度に関する回答では（図－６）、「満足」と回答した方が全体の9割弱となっています。その理由として、多く寄せられたのが、「コースがよかった」「楽しかった」という意見で、ワンウェイコース、普段走行できない国有林林道コースを走行できることが参加者にとって魅力的であることが分かりました。また、多くの参加者から「今後も参加したい」「継続してほしい」との声をいただいております、今後の大会開催への期待度が高いことも分かりました。



図－６ 大会の満足度
(回答数＝368)

（３）王滝村長からのコメント

王滝村の越原村長に聞き取り調査を行い、今後の大会開催について以下のとおりコメントをいただきました。

「大会には、全国各地から大勢の方にお越しいただいております、村は元気をいただいております。多くのファンが毎年楽しみにしている大会でもあり、今後も多くの皆様に御協力いただき、年輪を重ねていきたいと考えています。普段は走ることのできない国有林林道コースを自然に活かされながら走り続けていただきたいと思います。」

５ まとめ

本報告にあたり、王滝村におけるクロスカンントリー大会設立の経緯や現状について状況整理し、村内商業施設や大会参加者からの声を伺うことができました。

大会開催が村内商業施設に与える経済効果には幅が見られましたが、王滝村の関係人口の増加や魅力発信の機会になり得るため、今後も大会開催を継続してほしいという意見や、参加者からはコースが良かった、唯一無二の大会であるといった意見をいただいております、国有林のフィールドを活用した大会開催が地域貢献につながっていることが示されました。また、王滝村長からも今後の大会開催について前向きなコメントを伺うことができ、国有林は、引き続きこれらの期待に応えていくことが求められています。

おわりに

王滝村に広がる国有林は、木曽ヒノキを主体とした森林そのものの価値に留まらず、森林空間の総合利用を通じて地域に貢献している点にも大きな価値があることが示されました。

過去に比べると造林や木材生産といった事業面では、国有林と地域の関わりが薄れている今日ですが、大会開催は、地域との協力体制構築の機会にもなっています。また、開催を通じて、参加者に「国有林」を見ていただくことは、「国有林」の発信の機会にもなり得ます。

木曽署では引き続き、大会実行委員会及び王滝村と連携して大会の開催をサポートし、国民の森林である国有林野を通じて地域に貢献するとともに、王滝村の大自然と一体になっていただく機会をより多くの方へ提供していきます。

最後になりますが、アンケートや聞き取り調査に協力いただいた王滝村の商業施設の皆様、大会に関するデータ等を提供いただいた有限会社パワースポーツの関係者様に厚く御礼申し上げます。

参考文献

- ・木曽森林管理署王滝事務所（2005）「王滝事務所のあらまし」木曽森林管理署王滝事務所
- ・一般社団法人木曽おんたけ観光局 王滝村観光案内所HP <http://www.ontake.jp/>
（2024年12月5日閲覧）
- ・王滝村HP <https://www.vill.otaki.nagano.jp/aboutus/>
（2024年12月5日閲覧）
- ・中部森林管理局HP <https://www.rinya.maff.go.jp/chubu/kiso/morigatari/rekishhi.html>
（2025年2月20日閲覧）
- ・有限会社パワースポーツHP <http://www.powersports.co.jp/>
（2024年11月28日閲覧）

写真提供

王滝村役場、有限会社パワースポーツ

大会紹介動画

YouTubeの王滝村公式チャンネルに大会紹介動画がアップされていますのでご覧ください。

<https://youtu.be/ydEdzVl3hfQ?si=p9nxgw0W2GSK5b0o>



QRコードを読み取るか、
URL から YouTube にアクセスできます。

